

鹿嶋市公立幼稚園・保育施設再編方針に基づく実施計画

1 はじめに

【策定の目的】

鹿嶋市では少子化の急速な進行や公立幼稚園・保育施設の老朽化を踏まえ、令和元年5月に「鹿嶋市公立幼稚園・保育施設再編方針」【計画期間：令和元年度～令和10年度】を策定しました。その後、令和6年3月に中間見直しを行い、対象施設の再編の方向性を改めて整理しました。

本実施計画は、再編方針に基づき、各施設の具体的な再編スケジュールと取組内容を明らかにし、関係者が一体となって円滑に再編を進めることを目的として策定するものです。

【策定の経緯】

再編方針では、幼稚園入園希望者の減少を踏まえ、3歳児新入園児が10人に満たない年が2か年継続した場合は休園または他園との統合を検討する基準（休園・統合検討基準）を定めています。

令和7年度及び令和8年度の園児募集において、全幼稚園4園の3歳児新入園希望者が10人未満となり、休園・統合検討基準に該当となりました。

また、再編方針では、休園または他園との統合を検討するとしていましたが、園児数が減少しており、仮に休園としても再開の目途が立たない状況であること、また、施設の老朽化も進んでいることから、在園児の教育環境を確保しつつ、休園ではなく統合または廃園の検討を行い、再編方針に基づく実施計画として策定します。

2 再編方針の概要

【基本的な考え方】

①幼稚園等における集団生活等によって育まれる教育効果

グループ活動が行え、遊びや制作活動等における学びの広がりや深まり等の教育的効果を高めることができるよう、1学級当たりの下限を10人に設定します。

②施設配置における地域間のバランス，民間施設と連携した必要量の確保

今後の児童数の推移や多様化する教育・保育ニーズに柔軟に対応しつつ、将来にわたって待機児童を発生させないことはもとより、公立施設の役割を明確にし、子どもたちが安心して教育・保育を受けられるよう民間施設と連携し必要な量を確保します。

③施設の集約化と財政効率の適正化

少子化の急速な進行、公立幼稚園・保育園の老朽化を踏まえ、今後予測される社会的変化・対応等に十分に留意し、施設の集約化と財政効率の適正化を推進し、必要な子育て支援策等へ再分配します。

【対象施設と再編の経過及び今後の方向性】

施設名	再編の方向性
平井認定こども園	継続
宮下保育園	令和8年度末に廃園
佐田保育園	継続，高松幼稚園との統合時期は当面の間保留
大船津保育園	令和6年度末に廃園済み
三笠幼稚園	継続，令和9年度波野幼稚園を統合
高松幼稚園	継続，佐田保育園との統合時期は当面の間保留
波野幼稚園	令和8年度末に廃園し，令和9年度から三笠幼稚園へ統合
はまなす幼稚園	令和8年度末に廃園

3 実施計画

【施設別スケジュール一覧】

施設名	令和8年度	令和9年度	令和10年度
三笠幼稚園	在園児対応	波野幼稚園児受入れ 在園児対応	在園児対応
波野幼稚園	在園児対応 令和9年度園児募集停止 三笠幼稚園へ統合準備 →年度末廃園	三笠幼稚園へ統合	—
はまなす幼稚園	在園児対応 令和9年度園児募集停止 転園支援 →年度末廃園	—	—

【各施設の主な取組】

①三笠幼稚園

時期	取組内容
令和8年度	在園児の教育環境の確保 波野幼稚園統合に向けた受入れ体制整備
令和9年度	波野幼稚園からの園児受入れ 在園児の教育環境の確保
令和10年度	在園児の教育環境の確保

※三笠幼稚園については，波野幼稚園，はまなす幼稚園の廃園後も，一定期間，公立幼稚園としての受け皿を維持することにより，転園先の選択肢を確保し，保護者が安心して子どもを預けられる環境を維持するため，引き続き，3歳児新入園希望者の動向を確認し，廃園の時期を検討します。

②波野幼稚園

時期	取組内容
令和8年度	在園児・保護者への統合方針の周知 令和9年度新入園児募集停止 三笠幼稚園への統合準備 廃園手続き

※波野幼稚園に在園中の園児については、三笠幼稚園への統合後も、引き続き、三笠幼稚園において卒園まで教育環境を確保します。

③はまなす幼稚園

時期	取組内容
令和8年度	在園児・保護者への廃園方針の周知 令和9年度新入園児募集停止 転園先（公立幼稚園・認定こども園，私立認定こども園）の案内 廃園手続き
令和9年度以降	施設等の利活用方法を検討（時期未定）

※はまなす幼稚園に在園中の園児については、在園児の卒園を待たず令和8年度末に廃園とするため、公立幼稚園・認定こども園，私立認定こども園への転園を支援します。

4 今後の検討事項

①三笠幼稚園の廃園時期

令和10年度までの3歳児新入園希望者の動向を踏まえ、廃園時期を検討します。

②波野幼稚園の解体時期

地権者及び関係機関との協議を行い、解体時期の検討を進めます。

③佐田保育園及び高松幼稚園の統合時期

児童数や保育ニーズの動向を踏まえながら、統合の時期・方法について引き続き検討を進めます。

④宮下保育園及びはまなす幼稚園の施設・底地の利活用

廃園後の施設・底地については、財政状況、地域の実情及び市の公共施設等総合管理計画を踏まえつつ検討を進めます。

⑤民間施設との連携・必要量の確保

公立施設の再編後も、民間施設と連携しながら、教育・保育の必要量を確保します。

5 再編方針策定の経過

令和元年5月 鹿嶋市公立幼稚園・保育施設再編方針策定

令和6年3月 鹿嶋市公立幼稚園・保育施設再編方針改定（中間見直し）

同年3月 教育委員会議にて報告

同年6月 令和6年第2回鹿嶋市議会定例会にて報告

6 公立幼稚園の在園児数の推移

【別表】

基準日：4月1日

園名	令和6年度				令和7年度				令和8年度			
	3歳児	4歳児	5歳児	合計	3歳児	4歳児	5歳児	合計	3歳児	4歳児	5歳児	合計
三笠幼稚園	15	12	15	42	5	15	13	33	3	5	15	23
高松幼稚園	10	7	10	27	3	10	8	21	8	3	10	21
波野幼稚園	14	9	12	35	4	13	11	28	1	4	13	18
はまなす幼稚園	5	2	10	17	2	6	1	9	2	2	4	8